

令和3年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	国と地方の防災を担う人材の育成に係る経費			担当部局庁	政策統括官(防災担当)	作成責任者			
事業開始年度	平成25年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(地方・訓練担当)	宮木 一寛			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	災害対策基本法第8条第2項第18号			関係する計画、通知等	防災基本計画(令和元年5月、中央防災会議決定)				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国全体における防災体制充実のため、国、地方の公共団体の職員を対象に、防災スペシャリストとして「自然災害に迅速・的確に対応できる人材」、「国、地方のネットワークを形成できる人材」の育成を図る。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	地方公共団体の職員等を対象に「内閣府で防災に関する業務を経験する研修」、「有明の丘基幹的広域防災拠点施設における研修」、地方で行う「地域研修」などを実施する。有明の丘基幹的広域防災拠点施設における研修では、災害対応に不可欠な知識・技能・態度を効果的に習得する研修を行う。また、「地域研修」では各地域における災害の特性やニーズを踏まえた災害対応に必要な能力を効果的に習得する研修を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求			
	予算の状況	当初予算	124.8	123	124.7	114.8	135		
		補正予算	▲6.5	▲3.6	49.2	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	0		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-			
		計	118.3	119.4	173.9	114.8	135		
	執行額	113.5	112.5	159.9					
	執行率(%)	96%	94%	92%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	96%	94%	92%					
令和3・4年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由					
	災害関係調査費	93.3	113.8	新たな成長推進枠:30.0					
	非常勤職員手当	17.4	17.4						
	委員等旅費	3.5	3.5						
	職員旅費	0.6	0.4						
	計	114.8	135						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
	研修終了後に理解度を測るテストを行い、参加者全員が8割以上の点数を取得することを目指す	研修終了後に行われる学習到達度テストで8割以上の点数を得た人の割合	成果実績	%	97	98	91	-	-
			目標値	%	100	100	100	-	-
			達成度	%	97	98	91	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	「有明の丘基幹的広域防災拠点施設における研修」受講者の確認テストの結果								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込			
	「有明の丘基幹的広域防災拠点施設における研修」及び「地域研修」の総受講者数			活動実績	1,602	1,198	1,262	-	-		
				当初見込み	1,400	1,400	1,600	1,620	-		
単位当たりコスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込				
	内閣府企画研修実績額/内閣府企画 研修実施日数 (円/日)		円	1,718,690	1,705,948	749,948	522,082				
			計算式	/	99,684,000/58	98,945,000/58	144,740,000/193	96,063,000/184			
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	9防災政策									
	施策	(1)防災に関する普及・啓発									
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
		1. 研修の総受講者数	実績値	人	1,602	1,198	1,262	-	-		
			目標値	人	1,400	1,400	1,600	-	-		
		定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
		2. 研修終了後に行われる学習到達度テストで80%以上の点数を得た人の割合	実績値	%	97	98	91	-	-		
			目標値	%	80	80	80	-	-		
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
		-	-	-	施策の進捗状況(実績)						
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
		-									
		新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-						
			(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値	-			-	-	-	-	-			
達成度	%		-	-	-	-	-				
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
	成果実績		-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-				
達成度	%	-	-	-	-	-					
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	災害対策を適切に行うためには専門的な知識・技術・能力が必要であるとともに、国や地方公共団体の災害対応力の向上は社会からも求められており、ニーズを反映した研修を企画実施している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	当事業は、国・地方公共団体等の災害対応にあたる人材育成とそのネットワークの構築を図る事業である。この事業効果は、研修を受けた職員が所属組織だけでなく、国全体の防災能力の向上にもなるため、国が主体的に行うべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	災害対策には専門的な知識・技術・能力が必要不可欠なものの需要であり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	契約業者の選定は、一般競争入札(総合評価方式)により行っており競争性は確保されている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	企画運営業務の分割による発注ロットの見直しや、仕様書内容をより具体的に記載するなど、入札参加し易いものに改善を図ってきたところである。結果的に一者応札が大半を占めたが、引き続き、仕様書等における業務内容の明示の工夫や入札期間等への配慮など、発注手続きの改善を図る。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	入札により予定価格以内での落札となっており、コスト水準は妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	研修の企画・運営に必要な民間企業への請負経費及び研修参加のための旅費等、必要なものに限定されている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	前年度事業の実績も考慮し、仕様の見直しなどを行いコスト削減や研修の効率的な実施を図っている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	△	平成26年度から研修終了後に理解度を測るテストを実施し、理解度の把握に努めたが、正解率8割以上の者は91%となっており、僅かではあるが目標には至っていない。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和2年度「有明の丘研修」受講希望者は定員の約2倍の申し込みがあるなど、見込み以上の活動実績となっている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果		当事業は、国・地方公共団体等の防災に係わる人材の育成とそのネットワークの構築を図る事業である。その事業効果は、研修を受けた職員が所属する組織だけにとどまらず、国全体の防災能力の向上にもなる。そのため、国が主体的に行うべき事業である。「有明の丘研修」については、例年、受講定員に対して受講希望者が大きく上回ることから、令和2年度は受講定員を増やす取り組みを行ったが、急遽、コロナ禍に配慮した研修方式への変更(対面研修のオンライン化)により、一部、研修期間の変更等の混乱が生じ、突発的かつやむを得ない理由のキャンセルが多く発生した。また、研修受講者の理解度については、研修内容の改善に向けた検討等を行っているところであるが、わずかに目標に達しなかった。予算執行については、業務の発注にあたって一般競争入札(総合評価方式)の実施等、競争性を確保を図ったが、結果として一者応札が発生した。
	改善の方向性		引き続き、受講定員の拡大や受講者キャンセル削減に向けた検討等を図りつつ、より受講者の理解度が高まるよう研修内容や実施手法・期間等の改善を図る。予算執行については、引き続き、競争性を確保した発注方式を実施するとともに、入札参加者の拡大を促すため、仕様書等の業務内容の明確化や発注時期の適正化等を図り、効率的な予算執行に取り組む。

外部有識者の所見

行政事業レビュー推進チームの所見

現
状
通
り

引き続き、過去の有識者の所見を踏まえ、充実した研修を実施するとともに国民が研修の成果を具体的に判断できるように努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現
状
通
り

所見を踏まえ、更に充実した研修となるよう努めるとともに、国民が研修成果を具体に判断できる手法について、有識者からのご意見も聴きながら検討していく。

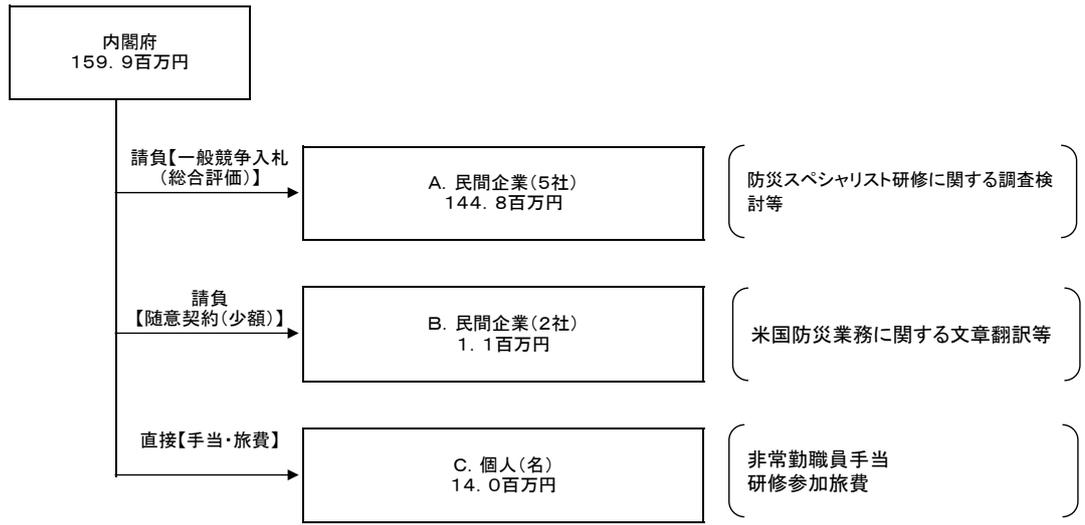
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-			
平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	新25-0004			
平成26年度	0040			
平成27年度	0041			
平成28年度	0037			
平成29年度	0037			
平成30年度	0037			
令和元年度	内閣府 - 0044			
令和2年度	内閣府 - 0043			

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)サイエンスクラフト			B.(株)エアクレーレン		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	令和2年度防災スペシャリスト養成のための研修体系等に関する調査検討業務	41	雑役務費	米国FIMAの防災業務における能力基準・タスクブックの翻訳業務	0.9
計		41	計		0.9
C.個人A			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
人件費	非常勤職員手当	1.4			
計		1.4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)サイエンスクラブ	1210001011627	令和2年度防災スペシャリスト養成のための研修体系等に関する調査検討業務	41	一般競争契約 (総合評価)	1	-	
2	(株)サイエンスクラブ	1210001011627	令和2年度総合的な防災スペシャリストの養成に関する調査及び企画運営業務	40.6	一般競争契約 (総合評価)	1	-	
3	(株)サイエンスクラブ	1210001011627	オンラインを活用した演習の設計・開発及び研修効果の測定手法に関する調査分析等業務	26.4	一般競争契約 (総合評価)	1	-	
4	(株)サイエンスクラブ	1210001011627	令和2年度地域による防災スペシャリストの養成に関する調査及び企画運営業務	18.6	一般競争契約 (総合評価)	1	-	
5	国土防災技術(株)	9010401010035	感染症に配慮した避難所運営等に係るオンライン研修教材作成に関する調査分析等業務	18.2	一般競争契約 (総合評価)	3	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(株)エアクレーレン	4010401004009	米国FIMAの防災業務における能力基準・タスクブックの翻訳業務	0.9	随意契約 (少額)	-	-	
2	(公財)全国市長会館	7010005018609	全国防災・危機管理トップセミナーに係る会場借上料(全国市長会)	0.2	随意契約 (少額)	-	-	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A		非常勤職員手当	1.4	その他	-	-	
2	個人B		非常勤職員手当	1.4	その他	-	-	
3	個人C		非常勤職員手当	1.3	その他	-	-	
4	個人D		非常勤職員手当	1.3	その他	-	-	
5	個人E		非常勤職員手当	1.2	その他	-	-	
6	個人F		非常勤職員手当	1.2	その他	-	-	
7	個人G		非常勤職員手当	1.2	その他	-	-	
8	個人H		非常勤職員手当	1.1	その他	-	-	
9	個人I		非常勤職員手当	1.1	その他	-	-	
10	個人J		非常勤職員手当	1	その他	-	-	